

# 予防、早期発見からリハビリまで、 循環器疾患の一貫したサポートを実現

高血圧などの生活習慣病が動脈硬化へと進行し、脳卒中や心筋梗塞に代表される循環器疾患に至らないよう予防するとともに、早期発見や的確な治療に取り組んでいます。

## 診療科紹介

### ○糖尿病・脂質代謝内科

最近急速に進歩する治療法と検査機器、最新の医学的知見に立脚して、糖尿病、脂質異常症、動脈硬化、肥満症、高血圧などの病気に対する専門的な診療を行い、循環器疾患を予防することを目標にしています。

### ○腎臓・高血圧内科

腎臓病や高血圧の管理・進行防止に取り組んでいます。さらに、必要に応じて血液透析を中心とした各種体外循環療法も行っています。

### ○健診部

健診とその結果に基づいた保健指導を行います。心不全重症化予防を通してがんや認知症予防も目指します。さらに、老若男女の生涯健康支援を目指しています。

### ○循環器病リハビリテーション部

脳卒中と急性心筋梗塞などの心血管疾患は、共通した危険因子（喫煙・高血圧・糖尿病など）や病態を有しています。循環器病リハビリテーション部は、脳卒中と心血管疾患に対するリハビリテーションを各々専門的に行うとともに、循環器疾患の再発予防に向けた啓発、運動療法に取り組んでいます。

## 糖尿病、脂質異常症、肥満症の 治療により循環器疾患の 予防・重症化予防を行います

最近のGLP-1、SGLT2など治療薬の急速な進歩、持続血糖モニタリング（CGM）による血糖変動改善、心理士も含めた全ての職種からなる多職種カンファのチーム医療による生活習慣改善などの、糖尿病、脂質異常症、肥満症の治療により、循環器疾患の予防・重症化予防の診療と臨床研究を行っています。循環器疾患合併や特に体重200kg以上の超高度肥満などの他施設で難しい症例を多く診療し、逆紹介しています。

## 腎臓病・高血圧に対して 専門的な診断と治療を 提供しています

慢性腎臓病は、末期腎不全（透析）や循環器疾患の大きな危険因子として認識されており、診断のための腎生検や免疫抑制治療などを積極的に行っています。循環器疾患を有する慢性腎臓病患者における維持透析の管理、末期腎不全への進展防止、循環器疾患発症予防や臨床研究を行っています。また急性腎障害や種々の病態に対して、体外循環療法を行っています。最近では、腹膜透析と腎代替療法選択外来を始めました。

## 循環器疾患の再発予防を目指した 包括的心臓リハビリテーションに 力を入れています

急性心筋梗塞などの循環器疾患を発症して入院すると、心機能の低下に加えて、しばらく安静を強いられるため体力が低下するとともに、今後の活動や運動に対する強い不安感が生じます。心臓リハビリテーションでは、低下した体力を運動療法で回復させて、自信を取り戻し、さらには動脈硬化の進行抑制や循環器疾患の再発予防を目指して、適切な運動習慣と生活習慣を身につけられるよう取り組んでいます。



## ゲノム医療

技術の進歩に伴い、個人の遺伝的背景に注目したオーダーメイドの医療であるゲノム医療の発展が期待されています。国循では2017年4月に、これまで各診療科が独自に行っていた遺伝子診断を発展させるとともに循環器疾患や生活習慣病の治療に遺伝子解析を応用することを目的に、「ゲノム医療部門」を新設しました。現在、遺伝性不整脈、マルファン症候群、家族性高コレステロール血症を中心に遺伝子診断から遺伝カウンセリング、治療までを行う体制を構築しています。さらに次世代シーケンサーを用いた、より高度な臨床遺伝子診断、効果的な治療選択、重症化予防、発症予防までも視野に入れて個人にとって最適な医療を行うことを目指しています。



## 吹田研究

都市部地域住民を対象とした循環器病コホート研究で、古典的リスクについて一通りまとめ、様々なガイドラインに引用されています。また、循環器病の予測ツールを開発し、それらを組み合わせて心不全重症化予防の実装に取り組んでいます。さらに、心不全と認知症の次世代コホート研究を立ち上げております。



## AI脳ドック

早期アルツハイマー病に対する抗アミロイドβ抗体療法や生活習慣病治療の進歩により、認知症と脳卒中は早期発見・予防がより重要な時代となりました。AI脳ドックにより、脳の状態や将来の認知症・脳卒中リスクを早めに把握し、一人ひとりに合った対策で健康寿命の延伸を目指します。



## 家族性高コレステロール血症(FH)

FHの患者さんについて遺伝子解析を行い、診断や治療に役立てるとともに新しい遺伝子の探索や、将来の心筋梗塞発症の予測を行っています。また、ガイドラインの作成やアキレス腱の厚さをエコーで測定する方法を確立するなど、FHの診断向上に貢献しています。